

# 表現基礎（製図）

選 択

開講年次：1 年次後期

科目区分：講義＋演習

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：3次元の空間図形を2次元である平面上に表示するため、投象の種類と画法を理解し、基本製図（三面図、アクソメ、アイソメ、パースなど）の技法を習得する。また、基本製図で身に付けた平面の表現能力をもとに、紙を使った立体モデルを制作する。デザインに必要な立体物の構成について理解させ、制作を通じて三次元の表現力を養う。

■**到達目標**：①投象の種類と画法など基本製図技法を習得する。  
②イメージした立体を基本製図技法により平面上に表現することができる。  
③イメージしたパースを立体で表現することができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎金子 晋也、山田 信博

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 基本製図（図形の作図・点と直線）
- 第 2 回 基本製図（図形の作図・面）
- 第 3 回 基本製図（図形の作図・立体）
- 第 4 回 基本製図（図形の作図・応用1）
- 第 5 回 基本製図（図形の作図・応用2）
- 第 6 回 基本製図（パース起こし1）
- 第 7 回 基本製図（パース起こし2）
- 第 8 回 基本製図（パース起こし3）
- 第 9 回 紙による立体造形（折り紙建築の制作演習）
- 第10回 紙による立体造形（三面図からの立体物の制作）
- 第11回 紙による立体造形（椅子のポップアップカードの構想）
- 第12回 紙による立体造形（椅子のポップアップカードの制作）
- 第13回 紙による立体造形（オリジナル折り紙建築の構想）
- 第14回 紙による立体造形（オリジナル折り紙建築の構想）
- 第15回 紙による立体造形（オリジナル折り紙建築の制作）

■**教科書**：適宜資料を配布する。

■**参考文献**：図学概論／須藤利一（東京大学出版）

■**成績評価基準と方法**：出席・授業態度・提出課題の結果を総合して評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
課題・作品	◎	◎	◎	作品の内容	70
出席	○	○	○	2/3以上の出席が必要	30
				出席回数×2点	欠格条件

◎：より重視する。 ○：重視する。 空欄：評価に加えない。

■**関連科目**：表現基礎実習

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：授業開始時に、一括購入する教材費（用紙・製図用具等）として4,000円が必要になります。